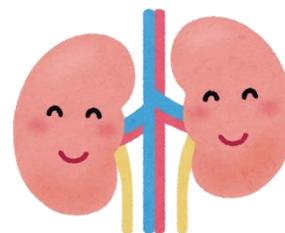


乳児健診や保育園・幼稚園・学校の健診で検尿異常を指摘された患者様へ

当院では小児腎臓病専門医による「腎臓外来」を行っています。健診で「タンパク尿」や「尿潜血」、「白血球尿」などを指摘された患者様の受診が可能です。

*「尿糖」を指摘された患者様は一般外来の受診をお願いします。



■ 受診までの流れ

- ① 健診の精密検査受診票やクリニックなどからの紹介状が必要です。
- ② 事前に小児科外来へお電話をいただき「腎臓外来」の予約を取るとスムーズです。
腎臓外来は月曜日の午後、火曜日と金曜日の午前にあります。
予約のない当日受診でも一般外来の受診は可能です。
- ③ 受診の当日に検尿をご持参いただくと診察前の待ち時間に検査を済ませることが可能です。
容器は清潔な使い捨てのプラスチック容器などで構いません。
事前に当院外来で検尿コップや採尿バッグ、提出用のスピッツを受け取ることも可能です。



■ 当院で行う主な検査

- ① 身長・体重測定、血圧測定
- ② 検尿：健診では試験紙による検査を行っていますが、尿の濃淡などの影響を受けるため正確性は一段低いものになっています。「タンパク尿」についてはタンパクの量を測る（定量）、「尿潜血」や「白血球尿」については血球の数を測る（尿沈査）ことでより正確に評価することが可能です。当院ではそれぞれ当日に30分～1時間程度で検査結果が得られます。
- ③ 血液検査：腎機能障害の有無や、腎炎に伴う検査異常（血球、炎症、補体、凝固機能など）を評価することができます。当院では当日に1時間程度で検査結果が得られます。一部の検査は院外の検査機関で行うため、結果が得られるのに数日～1週間程度かかるものもあります。
- ④ 超音波検査：腎臓の大きさや形態を評価します。軽微な検尿の異常をきっかけに超音波検査で見つかる疾患もあるため、とても重要な検査です。当院では受診の当日に予約不要で行うことができます。
- ⑤ 腎生検：①～④までの検査や経過から慢性腎炎が疑われる場合や、腎機能障害の原因を調べるために、腎臓の組織を針で取り、顕微鏡で観察する検査です。年少児では全身麻酔下で、年長児では局所麻酔下で行います。1週間程度の入院が必要になります。

■ 尿の採り方

- ① 紙コップの場合：検査当日の朝の一番目の尿が望ましいです。出始めの尿ではなく、途中の尿を採るようにしてください。尿は提出用スピッツや清潔なプラスチック容器などに入れて持参してください。
- ② おむつの場合：当院外来で採尿バッグを用意しています。採尿バッグがない場合は、おむつにラップを敷いて、清潔なガーゼやコットンで採尿し、清潔なプラスチック容器に絞って持参してください。
- ③ 尿の量と保管：1～2mL程度でも検査は可能ですが、5mLほどあるとより正確な検査が可能です。午後の受診の場合は冷暗所に保管してください。暑い日などは冷蔵庫での保管も可能です。

作成；2020年6月1日